

大豊建設



感謝状を持つ中杉取締役(左)と
押田会長

本社周辺清掃活動が12年目に

大豊建設が、東京都中央区新川の当社周辺で毎月実施している清掃活動が12年目に入った。社員の有志が自主的に

地元町内会から感謝状

参加し、毎月10日に隅田川の沿道「隅田川テラス」でゴミを拾い集め、地域美化に貢献している。長年の取り組みが評価され、新川一丁目東町会(押田まり子会長)から感謝状が贈呈された。

新川一丁目東町会の幹部が同社を訪ね、清掃活動の発起人でもある中杉正伸取締役兼専務執行役員管理本部長に感謝状を手渡した。押田会長は「住民が少ない町会のため、清掃活動に参加してもらえるのは大変助かっている」と感謝の言葉を述べた。

中央区が地域の清掃活動を展開する「まちかどクリーンデー」に賛同し、2006年7月から本社周辺の清掃活動を開始した。今月で11年6カ月続いており、総務部や経理部、人事部を中心に、毎回15人程度が参加しているという。

22日に押田会長をはじめ、

同社は2009年11月、災害時援助協定を同会と締結した。大地震などが発生した場合、本社地下にある受水槽施設(約40立方メートル)を被災した地域住民の応急給水用に提供する。中杉取締役は「大豊建設は地域に根差した企業。今後も清掃活動を続けたい」と協力を約束した。